

額縁・キャンバス販売・張り替え・梱包・地方発送・保管
各種展覧会の搬入搬出・企画から展示プラン作成等
どうぞお気軽にご相談ください。

有限会社アートン
ARTON
0466-48-8488





arton.event@gmail.com
https://www.arton.events
〒252-0821 神奈川県藤沢市用田211-4

横浜市・神奈川県登録業者

美術教材・画材・販売
金子教材

展覧会等 絵画の搬入・搬出 承ります。
お気軽にご相談ください。



〒244-0815
横浜市戸塚区下倉田町 755
TEL 070-5576-2564
FAX 045-871-5171


横浜市民ギャラリー展覧会スケジュール 2026年2月～5月	
※2025年10月15日時点での情報です。主催者の都合により 情報変更されることがあります。	
2月	February
横浜美術友の会 2025年度 受講生作品展 1/28～2/2 10:00～17:00 ※最終日～14:00 絵画教室25クラスの受講生作品350点を展示 主催:特定非営利活動法人 横浜美術友の会	[3F/1F/B1F]
神奈川県高等学校定時制通信制生徒作品展 1/30～2/2 10:00～18:00 ※最終日～14:00 神奈川県高等学校定時制通信制の生徒による作品展 主催:神奈川県高等学校定通教育振興会	[2F]
Soooooup 和光大学表現学部芸術学科卒業制作展2026 2/4～2/9 10:00～18:00 ※最終日～13:00 和光大学表現学部芸術学科による2026年卒業制作展 主催:和光大学表現学部	[全室]
第48回 日月書道展(公募) 2/11～2/15 10:00～18:00 ※最終日～16:00 漢字、かなに偏らない書道展。子供～大人、書家まで幅広く展示 主催:日月書道会	[全室]
日本風景写真協会神奈川支部 第22回作品展 彩時記 2/17～2/23 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～15:00 日本風景写真協会神奈川支部第22回作品展。彩時記作品展示 55点 主催:日本風景写真協会 神奈川支部	[3FA]
横浜国立大学 教育学部 書道ゼミ 卒業制作展 2/17～2/23 10:00～17:00 ※初日14:00～、最終日～16:00 美文字を追い求めた4年間、横浜国立大学書道ゼミによる卒業 制作 主催:横浜国立大学 教育学部 書道ゼミ	[3FB]
令和7年度 横浜国立大学教育学部美術科 卒業制作展 2/17～2/23 10:00～18:00 ※初日15:00～、最終日～15:00 横浜国立大学教育学部美術科4年生13名による卒業制作 主催:横浜国立大学教育学部 美術科	[2F]

横浜市民ギャラリーコレクション展2026 [1F/B1F] 戦後をあゆむ	
2/20～3/8 10:00～18:00 ※入場～17:30 戦後80年をテーマに、戦時下の様子、戦後の社会について読 み解くことができる絵画、写真、コマ漫画などの所蔵作品約 60点に関連資料を加えて展示 主催:横浜市民ギャラリー	
OMSYSTEMズイコークラブ 湘南支部 第28回写真展[3F] 2/25～3/2 10:00～17:00 ※最終日～13:00 幅広いテーマやスタイルで個性ある写真を展示する定例グルー プ展 主催:OMSYSTEMズイコークラブ 湘南支部	[3F]
神奈川県警察職員美術展 2/25～3/2 10:00～18:00 ※最終日～15:00 神奈川県警察職員等が余暇を利用して制作した作品の展示 主催:一般財団法人神奈川県警友会	[2F]
3月	March
令和7年度 横浜国立大学教育学部美術科 在校生展 3/3～3/9 10:00～18:00 ※初日15:00～、最終日～15:00 横浜国立大学教育学部美術科3年と院生17名による作品展 主催:横浜国立大学教育学部 美術科	[3F]
第58回 主体美術神奈川作家展 3/3～3/9 10:00～18:00 ※初日14:00～、最終日～16:00 100号を中心にした、具象、抽象作品を40点から50点位展示 主催:主体美術協会 神奈川作家展	[2F]
日本水彩画会 湘南支部展 3/10～3/15 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～16:00 80号の大作から小品までの水彩約80点を展示 主催:日本水彩画会 湘南支部	[2F]
形象、分有一汀にて 3/10～3/15 10:00～18:00 ※初日13:00～(B1Fは一部開 催)、最終日～16:00 異なるものが集い、交錯する 関 渡打ち際 レコクティヴの実験 主催:AS+A	[1F/B1F]
第73回 書作展 3/18～3/22 10:00～18:00 ※最終日～15:00 「漢字、かな、篆刻、刻字、詩文書」を網羅する書道公募展 主催:横浜書作協会	[全室]

2026 第68回 主催:二科 神奈川支部

二科 神奈川支部展

会期:2026年6月3日(水)～6月8日(月) 午前10時～午後6時(最終日午後3時終了) 出品要項は
会場:横浜市民ギャラリー (地下1階～3階) はこちら↓
作品公募:事前届締切 2026年5月2日(土) 搬入日 2026年5月30日(土)
●応募資格 神奈川県内に在住、在勤、在学する中学生以上の方 ※学生部門無料
●作品内容 絵画、出品点数2点以内(サイズ520号以上 F100号まで)、出品料(1点5,000円、2点6,000円)
●連絡先 二科神奈川支部事務局 渡邊 仁美 TEL:045-435-0788



黄鶴堂
JAPANESE TRADITION

黄鶴堂は、絵具屋三吉が運営する日本画材専門店です。



合同写真展 フォト'26 [全室]	
3/24～3/29 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～15:00 横浜市を中心に県内15団体による合同写真展 主催:フォト展実行委員会	
第14回 横浜開港アンデパンダン展 [全室]	
3/31～4/6 10:00～18:00 ※初日14:00～、最終日～15:00 自主独立を骨子として、自由な表現を展示、春のアート祭350点 主催:横浜開港アンデパンダン展実行委員会	
4月	April
2026年第48回神奈美公募展 [3F/2F/1F] 4/8～4/13 10:00～17:00 ※最終日～16:00 絵画、陶芸、工芸等、各ジャンルを公募する有償性の全国公募展 主催:神奈川美術協会	
伊藤信幸 写真展5 えんたあていめんと [B1F] 4/8～4/13 10:00～17:00 ※最終日～15:00 地元横浜の伊勢佐木町や野毛界隈のスナップ77作品を展示 主催:伊藤信幸	
第57回 彩象展 [3F] 4/14～4/19 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～16:00 公募した油彩、日本画約60点を展示し優秀作品には賞を授与 主催:彩象美術協会	
第28回 横浜彫塑研究会 彫刻展 [2FA] 4/14～4/19 10:00～18:00 ※初日12:00～、最終日～16:00 彫塑により表現された人物・裸婦等の立体作品40点程の展示 主催:横浜彫塑研究会	
時の夢 [2FB] 4/14～4/19 10:30～18:00 ※初日14:00～、最終日～15:00 「面白探し」好奇心の視点でものを捉えた作品を展示 主催:星野安信	
フォトサークルB&W 第28回モノクローム写真展 [1F] 4/14～4/19 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～15:00 10名のメンバーによる、約80点のモノクローム写真展 主催:フォトサークルB&W	
第38回 鎌倉・横浜スケッチ会 春季展 [3F] 4/21～4/27 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～15:00 国内外の現場で描いた風景スケッチ(水彩)約250点を展示 主催:鎌倉・横浜スケッチ会	
第33回チャール会ヨコハマ絵画展 [2F]	
4/21～4/27 10:00～18:00 ※初日13:00～、最終日～16:00 具象から抽象、各種画材による自由闊達な表現作品約80点 主催:チャール会ヨコハマ	
点の解展 [1F/B1F]	
4/21～4/27 10:00～18:00 ※初日15:00～、最終日～16:00 今を生きる現代アートの作家20名の大作を含む展覧会 主催:点の解	
第93回 県展(公募) [全室]	
4/29～5/4 10:00～17:00 ※最終日～14:00 一般公募及びジュニア入選作品とメンバー作品、約400点展示 主催:神奈川県美術家協会	
5月	May
書法フォーラム 横浜書人会 [3FA/2F/1F] 一般部・学生部共催 5/6～5/11 10:00～18:00 ※最終日～16:00 書道芸術に対する認識を深め、書道文化の興隆と寄与を目的 とする 主催:書法フォーラム 横浜書人会	
横浜市民ギャラリー-U35若手芸術家支援事業[B1F] 小島平莉個展「My little house, and your rooms」 5/6～5/10 10:00～18:00 小島平莉、大学院修了個展。半立体テキスタイル作品を展示 主催:小島平莉 共催:横浜市民ギャラリー	
第20回 横浜美術協会 会員会友展 [全室] 5/12～5/17 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～15:00 洋画、日本画、彫刻立体、写真の作品を約150点展示 主催:横浜美術協会グループヨコテン	
第42回みずる展 [2F] 5/19～5/25 10:00～18:00 ※初日13:00～、最終日～16:00 水彩、パステルを中心に展示 主催:爽蒼美術協会	
第49回ヨコハマ日曜画家展 [全室] 5/27～6/1 10:00～17:00 ※最終日～14:00 日曜画家の皆さんの公募展。出品作品を全て展示し35賞を授与 主催:特定非営利活動法人 横浜美術友の会	

公募 第42回 水彩・パステル2026

爽蒼美術協会 みずる展

会場 横浜市民ギャラリー2階
会期 2026年5月19日(火)～5月25日(月)
搬入日 2026年5月16日(土)
事務局 〒232-0063 横浜市中区中里4-45-8
TEL 045-741-4053 太田貞成



第49回 ヨコハマ 日曜画家展

会場:横浜市民ギャラリー 入場無料
会期:2026.5.27(水)～6.1(月) 10:00～17:00(最終日 6.1 14:00まで)
主催: NPO法人横浜美術友の会
〒231-0062 横浜市中区桜木町2-2 港陽ビル6階
TEL 045-651-9313 FAX 045-323-9841
ホームページ https://yokobitomo.com/
メールアドレス yokobitomonokai@orion.ocn.ne.jp



報告 U35若手芸術家支援事業「飯山太陽展 横浜」を開催 YCAG U35 PROGRAM
会期:2025年11月20日(木)～12月1日(月) 会場:展示室 B1F

横浜市民ギャラリーでは「U35若手芸術家支援事業」として、「飯山太陽展 横浜」を開催しまし
た。飯山さんは小さい頃の一人遊びのように、独学で形にとらわれず制作しているといします。
作品には仏教にまつわる形や漢字が詰め込まれているのが特徴です。米袋を繋げ、手と指で描
いた大作《魂の波・意識の波・物質の波》は、猫等の図像と共に漢字、ラシテ語、サンスクリット
語で般若心経が描かれています。幅1m長さ10mの帆布に3年をかけ制作した架空の紙幣《不可
説不可説転》、ダンボールで制作した涅槃像の立体作品、制作過程の映像等も展示しました。細
部にわたり精巧に描かれた作品からは、様々なストーリーを読み解くことができ、会場に訪れた
沢山の方々に魅了しました。

【飯山太陽 (IYAMA Taiyou)】
2000年栃木県生まれ。2019年栃木県立益子特別支援学校卒業。同年栃木県益子町で初の個
展を開催。その後栃木県足利市、茂木町、東京都渋谷区等で個展を開催。2016年「SOMPO
パラルインアート サッカーアートコンテスト」グランプリ。2022年「アートパワ深川2022」假屋
崎吾吾賞。2024年「Art to you! 障がいの芸術世界展 IN SENDAI 2024」山形県知事賞 等



「飯山太陽展 横浜」展示風景


催し物 ビックアップ 横浜美術館 最寄駅:みなとみらい線「みなとみらい駅」 JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」

没後110年 日本画の革命児 今村紫紅

2026年4月25日(土)～6月28日(日)
10:00～18:00(入館は閉館の30分前まで)
休館日:木曜日(4月30日と5月7日は開館)

明治末から大正初期に活躍した今村紫紅(1880～1916)の42年ぶり、かつ公立美術館では初の大回顧展。琳派をはじめ、南画や西欧の印象派などの新しい表現を取り入れ、風景画に強烈な個性を発揮しました。《熱国之巻》《近江八景》(いずれも国指定重要文化財)をはじめ、初公開作品を数多く含む約180点でその創作の軌跡をたどります。

【お問合せ】横浜美術館 〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-4-1
TEL 045-221-0300 FAX 045-221-0317 https://yokohama.art.museum/



今村紫紅《蓮花鈴》(六曲屏風一双(図は部分)、明治44年[1911]、170.2×364.4cm(各隻)、雪友会蔵一コレクション所蔵)
展示期間:4月25日～5月8日

催し物 ビックアップ 横浜市民ギャラリーあざみ野 最寄駅:東急田園都市線・横浜市営地下鉄「あざみ野駅」


あざみ野フォト・アニュアル2026
上原沙也加 たとえすべての瓦礫が跡形もなくきれいに片付けられたとしても

2026年1月24日(土)～2月22日(日)
11:00～18:00 休館日:1月26日(月)

注目の若手写真家・上原沙也加(1993年沖縄県生まれ)による沖縄島と台湾を取材した写真を取り上げます。上原のレンズが捉えてきた、多様な文化と歴史が襲のように折りたたまれた「場所」と「時間」。これらの土地を一步一歩あるくように、一人ひとりの風景として重ね合わせることができる機会となることを願っています。

同時開催 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展
「Mr. ネイラーの驚異の部屋」

【お問合せ】横浜市民ギャラリーあざみ野 〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3
アートフォーラムあざみ野内 TEL 045-910-5656 FAX 045-910-5674 https://artazamino.jp/



《花売りのおばあさんから買ったバラの花》
「花売りのおばあさん」より

横浜市民ギャラリーの総合情報誌 2026年2月～5月

ART YOKOHAMA
Yokohama Civic Art Gallery
Art News Magazine
Feb 2026 - May

アート
ヨコハマ 85

特集 横浜市民ギャラリーコレクション展 2026
戦後をあゆむ
YCAG Collection Exhibition 2026 : The Postwar Path



奥村泰宏《帰還兵とGI》
1950年 ゼラチン・シルバー・プリント 33.7×33.6cm

開催 横浜市民ギャラリーコレクション展2026 戦後をあゆむ YCAG Collection Exhibition 2026 : The Postwar Path

2025年、日本は戦後80年を迎えました。横浜市民ギャラリーは1964年に開館し、60年を超える活動のなかで絵画や写真等、約1,300点のコレクションを形成してきました。本展ではそれら所蔵作品の中から、1930～1940年代の戦争の影響や戦時下の様子、戦後の社会について読み解くことができる絵画、写真、一コマ漫画など約60点の作品をご紹介します。さらに所蔵作家に関連する資料として、漫画家が終戦日の記憶や戦後の横浜の日常を描いた作品、小説家の手稿などを加えることにより、作家たちが戦争、社会、人々の営みをどのようにみつめ、表現してきたのかを深く掘り下げます。これらの作品を通して、戦後の日本を生きた人々の歩みをたどり、横浜の移り変わりを感じることができましょう。現在も世界では争いが絶えず起こり、社会は混迷を深めています。日本で起きた戦争も決して遠い過去の出来事ではありません。私たちは今なお、戦後という歴史から地続きの現代を生きています。このような時代にこそ、本展が私たち一人ひとりの平和への思いを深める機会となることを願っています。

※2月28日(土)13:30～15:00は朗読公演開催のため、B1Fの展示が見づらくなります。あらかじめご了承ください。

2026年2月20日(金)－3月8日(日) 10:00～18:00(入場は17:30まで) 横浜市民ギャラリー展示室1、B1 入場無料 会期中無休 主催：横浜市民ギャラリー（公益財団法人横浜市民芸術文化振興財団／西田装美株式会社 共同事業体） 協力：8・15朗読・収録プロジェクト実行委員会／株式会社今人舎、大佛次郎記念館

◆関連イベント レクチャー 「漫画で記憶を描きとめる～ヒサクニヒコの横浜の記憶～」 本展出品作品に関する制作エピソードや戦後の横浜の思い出についてのお話 2月21日(土)14:00～15:30 講師：ヒサクニヒコ（ヒトコマ漫画家、イラストレーター） 対象・定員：小学生以上50名程度（応募多数の場合は抽選） 会場：4Fアトリエ 参加費：1,000円 申込締切：2月4日(水)

朗読とお話「戦後を生きた女性たち」 「横浜ローザ」など戦後の横浜を主題とした舞台で知られる五大路子が、戦後を生き抜いた女性たちの声を朗読します 2月28日(土)14:00～14:40 出演：五大路子（俳優、「横浜夢座」座長）、後藤泰観（Vn.） 会場：展示室B1 参加無料、申込不要

担当学芸員によるギャラリートーク 2月23日(月・祝)11:00～11:30 会場：展示室 参加無料、申込不要

おしゃべりの日@コレクション展 鑑賞サポーター（ボランティア）と作品を見ながら会話を楽しむイベント 3月1日(日)10:30～12:30、14:30～16:30、8日(日)14:00～16:00 会場：展示室 参加無料、申込不要

ガイドツアー＆ミニ講座「戦後の横浜風景～絵&写真で辿る伊勢佐木・日ノ出町・野毛～」 本展の出品作品を紹介しながら、横浜の歴史にふれる街歩きとスライドレクチャー 3月7日(土)9:30～12:00 参加費：1,000円（先着順申込） 主催：NPO法人横浜シティガイド協会 共催：横浜市民ギャラリー ※申込方法等の詳細は当館公式ウェブサイトをご覧ください。



ヒサクニヒコ『演手帖13 横浜の記憶』(P to P合同会社、2024年)より



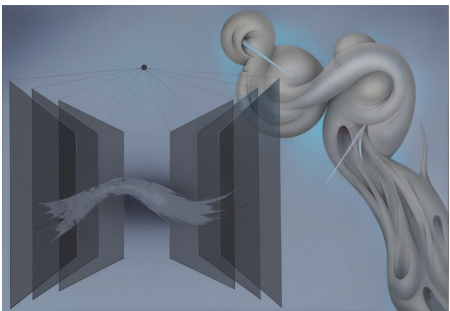
五大路子



1



3



5



2

1. 八島一夫《横浜大空襲500機【450まで数えられるってどうでもい
のよ早く逃げて】》1978年 マジック、水彩、紙 102.7×72.4cm
2. 矢野龍《1ヶ月半前》（書籍『私の八月十五日』シリーズより）
※特別出品
3. 岩田栄之助《終戦後の横浜港》1947年
油彩、キャンバス 65.6×80.5cm
4. 山崎秀太《米海軍通信隊（上瀬谷）》1979年
鉛筆、水彩、紙 30.8×40.3cm
5. 池田龍雄《連作 BRAHMAN より V章 点星》1981年
油彩、アクリル、紙 53.7×76.7cm
6. 常盤とよ子《真金町遊郭初店》1954年
ゼラチン・シルバー・プリント 26.6×40.5cm



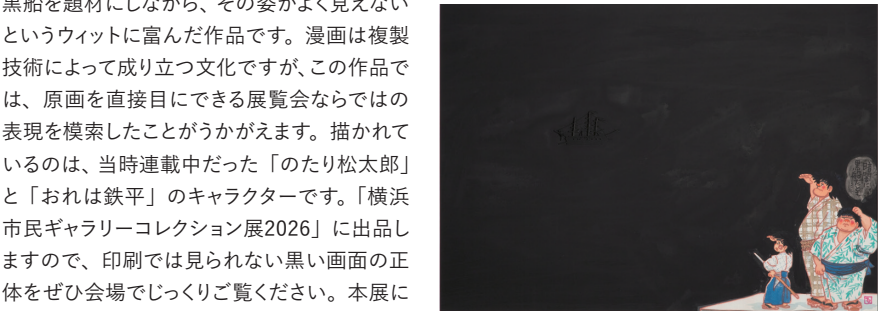
4



6

横浜市民ギャラリーゆかりの作家たち vol.34 ちばてつや

画面のほとんどを黒色が占めるこの作品。実は人物が目を向ける先に、木材と鎖かなる「黒船」が貼り付けられています。一人は頭を掻きながら「暗闇に黒船だとも……」と呟いています。作者は、「あしたのジョー」などで知られる漫画家のちばてつやさんです。本作は、1978年に横浜市民ギャラリーで開かれた「ヨコハマ漫画フェスティバル」のために制作されました。横浜の海に現れた



ちばてつや《暗闇に黒船》1978年 水彩、マジック、木、糸、鎖、紙 72.6x102.7cm ©ちばてつや

報告 大人のための アトリエ講座 2025年度前期 クリエイティブな時間を過ごす 大人向けの講座

横浜市民ギャラリーでは、学生からシニア世代まで、幅広い年齢層の方々が、経験を問わずに創作活動やレクチャーを楽しむことができる「大人のためのアトリエ講座」を開講しています。ギャラリーフロア最上階にあるアトリエにて、身近にアートを感じながら、さまざまなクリエイティブ体験がお楽しみいただけます。2025年度前期は5講座を実施しました。

※2026年4月以降の講座は、3月中旬にチラシやホームページでお知らせします。 スードクロッキー Aコース 2025年4/25、5/2、5/9、5/16：20名 色を楽しむ! 油絵具でモノタイプ版画 2025年6/1：18名 講師：北嶋勇佑（版画家）



講師と学ぶクロッキーの基本 2025年6/19、6/26：18名



藍の生葉染めをしよう 2025年6/14：16名 講師：柏崎久恵（染色 someoag 主宰／図工家）



レクチャー はじめての現代アート 2025年9/6：52名 講師：筧菜奈子（現代美術・装飾史研究者）



予告 ハマキッズ・アートクラブ 子どものためのアトリエ講座

子どものためのアトリエ講座「ハマキッズ・アートクラブ」では、小学生以下の幼児・児童を対象に、造形を中心とする講座を年に10回開催しています。子どもたちに「自分で考える」「自分でできる」「自分でする」ことの楽しさや醍醐味を体験してもらい、アートを通じて大人になるために必要な自立心を育むことを目的とする講座です。

★紙でどうぶつをつくらう 紙でおだんごをつくったら、張り子のように紙を貼って立体的などうぶつをつくらう。

2026年2月7日(土)13:30～15:30 講師 大竹美佳（造形作家） 対象・定員 小学1～3年生 25名（抽選） 参加費 1,500円（材料費込） 受付期間 2026年1月19日（月）まで

★横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー コレクション展で作品を見たり、作品収蔵庫など普段は入れないバックヤードを探検しよう。

2026年3月1日(日)10:30～11:40 講師 伊藤ひろ（横浜市民ギャラリー学芸員） 対象・定員 小学3～6年生 10名（抽選） 参加費 500円 受付期間 2026年2月10日（火）まで



報告 知覚を穿つ、3名の作品 「新・今日の作家展2025 穿ちの表象」

「穴をあける、ものごとの本質や人情の機微に巧に触れる」という意味を持つ「穿つ」をキーワードに、3名の作家を紹介しました。松原茉莉さんは1F展示室に4つのセクションを設け、24件39点を展示しました。松原さんは水溶紙にプリントした写真を水に溶かし、アブストラクト（抽象化）する手法で制作します。AI生成を取り入れた作品や、秤に小さな写真とお香の燃え滓を乗せた作品、制作過程を見せる《未分》セクションなど多角的な構成により、静ひつな印象とともに写真に付随する記憶の曖昧さや儚さを見る者に訴えました。畑山太志さんはB1展示室に絵画12点を出品しました。活動初期の百合を白く塗りつぶした作品からはじまり、抽象的なイメージが様々な大きさのキャンバスに溢れんばかりの色彩で描かれた作品と続き、視線を導きました。かつて畑山さんが造語した〈素知覚〉を制作の軸とした時期を含み、作品がほぼ制作順に並ぶことで、畑山さんの心境や制作の変遷と現在地を示すような空間が立ち上がりました。早川祐太さんは同じB1展示室に、彫刻や写真等11件12点を出品しました。早川さんは病氣のため触覚を失い、現在は認識を転換して得た知覚で触覚を代替しています。2025年春に発表した《ブラックボール》は、その経験を象徴するような作品でした。本展でもこの主題が掘り下げられ、市民ギャラリー 1階の空気を地下に引き込んだ《an earth of water》等、ものの存在の仕方や境界にフォーカスした作品で私たちの知覚を揺さぶりました。関連イベントではゲストを招いた対談、出品作家によるギャラリートーク等に加え、最終日に急速クロージングトークを行い、いずれも充実したものとなりました。



松原茉莉 展示風景 photo: Ken KATO



畑山太志 展示風景 photo: Ken KATO



早川祐太 展示風景 photo: Ken KATO



9/13 出品作家3名によるギャラリートーク



9/15 対談「あいまいな物質、行為と観測」



10/6 出品作家3名によるクロージングトーク

【展覧会データ】 新・今日の作家展2025 穿ちの表象 2025年9月13日(土)～10月6日(月) 横浜市民ギャラリー展示室1、B1 出品点数：47件63点 展覧会入場者数：展覧会入場者数4,243名＋イベント参加者数202名＝合計4,445名 【関連イベント】 1. 出品作家3名によるギャラリートーク 9月13日(土)15:00-15:45 2. 対談「あいまいな物質、行為と観測」 松原茉莉×飯田竜太（美術家／彫刻家／Nerhol） 9月15日(月・祝)14:00-15:30 3. 学芸員によるギャラリートーク 9月20日(土)14:00-14:30 4. 対談「現実生まれかわる」 畑山太志×沢山遼（美術批評家／武蔵野美術大学准教授） 9月27日(土)14:00-15:30 5. 対談「さわれない世界のさわりかた」 早川祐太×伊藤亜紗（美学者） 10月4日(土)14:00-15:30 6. 出品作家3名によるクロージングトーク 10月6日(月)16:30～17:30 1、3、6は、会場：展示室1、B1。参加無料 2、4、5は、会場：4Fアトリエ。参加費500円

ご利用ください《無料送迎車サービス》 JR 桜木町駅⇄横浜市民ギャラリーを巡回

【送迎車時刻表】 JR 桜木町駅発	
9	45
10	00 20 40
11	00 20 40
12	00 20 40
13	00 20 40
14	00 20 40
15	00 20 40
16	00 20 40
17	00 20

桜木町駅東口「タクシー降車場」看板隣の「貸切観光バス乗場」看板付近に送迎車が停車します。お身体の不自由な方・高齢者の方に配慮した送迎車サービスです（どなたでもご利用いただけます）。 送迎車の定員：9名（車いす1台を含む）

横浜市民ギャラリー送迎車

※状況により運休等場合があります。必ず運行状況を事前に当館公式ウェブサイトか電話等で確認の上、ご利用ください。 ※原則第3月曜日、年末年始は休館のため運行がありません。また、展覧会のない日も全便運休です。 ※皆様の安全を確保するため、大きなお荷物を携帯されている場合やシートベルトを正しく装着できない場合は乗車をお断りすることがあります。 ※展覧会初日と最終日や展示室の利用時間によっては始発・最終発の時刻が変更となったり、運休する場合があります。 ※交通事情、天候、施設状況等により運行が変更になる場合があります。



横浜市民ギャラリー 〒220-0031 横浜市民西区宮崎町26番地1 TEL 045-315-2828 FAX 045-315-3033 10：00～18：00 原則 毎月第3月曜日、年末年始休館 https://www.facebook.com/ycag1964 @ycag1964 @ycag1964

電車でのアクセス JR・市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分 ※紅葉橋交差点を過ぎて左斜め①の道を進みます。 京急「日ノ出町駅」から徒歩8分 ※野毛坂交差点を戸部方面に右側歩道を進み②の坂道を上がります。 バスでのアクセス 市営バス103・292系統「戸部1丁目」「野毛坂」から徒歩2～4分/市営バス89系統「野毛坂」から徒歩4分/市営バス8・26・101・105・106系統、京急バス110系統、神奈川中央交通 横43・横44・港61系統「紅葉坂」から徒歩7分 送迎車サービス 桜木町駅東口「タクシー降車場」看板隣の「貸切観光バス乗場」看板付近★に送迎車が停車します。 運行スケジュールや定員等は当館公式ウェブサイトをご覧ください。 駐車場 予約制・有料【駐車場専用TEL】045-315-4440 ※1週間前から受付